

令和元年10月9日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

令和元年度 第1回 三部会合同部会

◆ 10月9日(水)、美しい多摩川フォーラムの令和元年 第1回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：令和元年10月9日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：副会長、部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 経過報告

- (1) 多摩川“水”大学講座(7/19、9/20)
- (2) 狛江古代カップ第29回多摩川いかだレースに参加(7/21)【資料1】※
- (3) 「多摩川流域魅力体験事業2019」実行委員会(7/31、9/11)
- (4) 羽村×八丈エコ教室「川釣り体験」に協力(8/8)※
- (5) 第11回炭焼き体験と水辺の交流会(8/21)【資料2】※
- (6) 第6回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始(9/1～)【資料3】
- (7) 「多摩の物語」の語り会(9/6)【資料4】※
- (8) 東急百貨店より第10回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(10/8)

～以下、当面の予定～

- (9) 第11回たまりバーRUN&WALKに参加(10/12)
- (10) 多摩川“水”大学講座開催(10/18)
- (11) 第11回美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/2 多摩市、11/9 川崎市)【資料5】
- (12) 多摩川流域魅力体験事業! 「多摩川カヌー駅伝大会2019&クイズウォークラリー」に協力(11/23)【資料6】※
- (13) 第5回「多摩川流域魅力体験事業2019」実行委員会(10/30)
- (14) 第12回多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/7)【資料7】

4. 意見交換

(1) 今後の活動計画について

(2) その他

5. 出席者全員の自己紹介（取り組み事例の発表）

6. 副会長・部会長総括

7. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム令和元年度第1回三部会合同部会を始めさせて頂きたいと思っております。始めに当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は、小野リサさんによるボサノヴァ・特別バージョンでお聞き下さい・・・。

本日はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。

（国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所総括地域防災調整官 中村 修也 様）

中村と申します。本日はよろしくお願いいいたします。

（大田区都市基盤整備部都市基盤管理課計画調整担当係長 藤村 智明 様）

藤村と申します。本日はよろしくお願いいいたします。

（明星大学地域交流センター課長 上楽 一博 様）

上楽と申します。本日はよろしくお願いいいたします。

（藍澤証券株式会社ソリューション第一部副部長 久保 仁 様）

久保と申します。またお目にかかる機会も多くなると思っておりますので、よろしくお願いいいたします。

（藍澤証券株式会社ソリューション第一部 木村 圭貴 様）

木村と申します。本日はよろしくお願いいいたします。

有り難うございました。はじめに資料の確認ですが・・・(割愛)。その他、席上に複数枚配付させていただきましたが、これは意見交換終了後に予定している出席者全員の自己紹介に関連した資料になります。

本日は、副会長の平野教育文化部会長、蕨田地域経済活性化部会長が都合により欠席となりました。なお、今年度の三部会合同部会は、今日を含めて3回予定しており

ます。本日の部会進行は、藪田地域経済活性化部会長にお願いしていた関係で、代理として堤副部会長にお願いしたいと存じます。それでは、堤副部会長に開会のご挨拶をよろしく申し上げます。

2. 部会長挨拶

(堤地域経済活性化副部会長)

堤でございます。本日は気持ちの良い秋晴れですが、数日後にはまた台風がやってきます。秋に色々なイベントを企画していらっしゃる方はハラハラされているのではないのでしょうか。私は土曜日に神奈川県の大井町で講演を行った後、鹿児島に行き、昨日大分から日付が変わった後に帰ってきました。そのため、せっかく自己紹介タイムがあるにも関わらず、資料を持ってこることが出来ませんでした。さらに、名刺を大分駅に落としてきてしまい、「うっかり八兵衛」でございます。

今日も有意義なご議論を活発に行った後、ひとり1分と短い時間ではございますが、自己PRをお願いし、交流の場にしたいと思っております。それでは事務局に進行をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(2)、(4)、(5)、(7)番の活動をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(4) 羽村×八丈エコ教室「川釣り体験」に協力(8/8)

- ・ フォーラムとしては初めての川釣り体験事業を、羽村市の事業に協力する形で実施しました。なお、当日は、羽村市にとっても我々事務局にとってもサプライズだったのですが、山崎運営委員が自主的にボランティアで参加され、釣り指導はもちろんのこと、川の環境学習に至るまで運営に全面的にご協力いただきました。

(6) 第6回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始(9/1～)【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。今回はスタンプラリーを導入しました。チラシ裏面はスタンプラリー台帳を兼ねており、9月よりJR東日本八王子支社様管轄の66もの駅にチラシを置いていただきました。皆さんからのご応募をお待ちしております。また、大多摩観光連盟様が発行しているPR誌「大多摩四季報」にも掲載

していただきました。なお、今年も、はとバスさんが11月から12月に7本のツアーを組んでいます。

(7) 「多摩の物語」の語り会 (9/6) 【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。府中市駅前の「バルトホール」において、「多摩の物語」の語り会を開催しました。このイベントは、府中市様のご後援のもと、市報に募集記事の掲載をいただき、また、京王電鉄様のご協力のもと、府中市内の駅にポスター・チラシの掲出をいただき、実現したものです。当日は100名の定員を上回る115名のお客さまにご参加いただき、大変充実したイベントになりました。

(8) 東急百貨店より第10回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈 (10/8)

- ・ 昨日になりますが、株式会社東急百貨店本社にて、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部97,411円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。因みに、贈呈式には、細野会長に出席いただきました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

～以下、当面の予定～

(10) 多摩川“水”大学講座開催 (10/18)

- ・ 8年目となる今年は府中市と共催しておりますが、10月18日に今年度第5回目となる最終回を迎えます。なお、来年度につきましては、引き続き小倉副会長に講師をお願いし、昭島市で開催する方向で調整中です。

(12) 多摩川流域魅力体験事業！「多摩川カヌー駅伝大会2019&クイズウォークラリー」に協力 (11/23) 【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。これは、青梅市をはじめ6市が連携して東京都市長会の助成金を活用して実施するもので、今回が3年目の事業年度に当たります。11月23日に開催しますので、ぜひ会場まで足をお運びいただけたらと存じます。なお、このたびの開催に当り、フォーラム事務局で選手募集のCMを制作し、9月9日～15日まで多摩ケーブルに無償で放映していただきましたことをご報告させていただきます。それではCMをご覧ください。

(CM放映)

(14) 第12回多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/7)【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。今年は10組以上の参加を目標に募集を開始しております。皆さん、身近に発表できそうなお子さんや地元の小学校等ご紹介いただけるようでしたら事務局までよろしく申し上げます。
事務局からの経過報告は以上です。堤副部会長、よろしくお願いいたします。

(堤地域経済活性化副部会長)

こんなにカッコいいCMを多摩川フォーラム会員募集に活用したらドドドッと増えるかもしれませんね。素晴らしいセンスです。

事務局からの経過報告について、何かご意見・ご質問はございますか。・・・ないようでしたら、意見交換に進めます。はじめに事務局の方から説明してください。

4. 意見交換(部会長)

(1) 今後の活動計画について

(事務局)

令和元年度上期の活動につきましては、ほぼ計画どおり順調に終了することができました。下期の活動計画についても、次第掲載のとおりで、一部経過報告でご説明させていただきました。本件につき、ご質問やご意見がございましたら挙手をお願いします。

(堤地域経済活性化副部会長)

いかがでしょうか。特に無いようでしたら、事務局で何か補足等ありますか。

(事務局)

来月の運営委員会で協議事項を2件予定しております。1件目は、6月25日に開催された地域経済活性化部会および7月10日に開催された教育文化・環境清流合同部会でご説明させていただきましたが、多摩川子ども環境シンポジウム「みんなの発表誌」の発行について(案)です。これについてはイベント当初から、多摩川子ども環境シンポジウムで発表した内容を「みんなの発表誌」として冊子にまとめていましたが、設立10周年を機に、事業の見直しを行い、いったん廃止しました。しかしながら、廃止したことによって、多摩川子ども環境シンポジウムの応募が3年連続で減少したこともあり、「みんなの発表誌」を復活させたほうが良いのではないかとということになりました。しかし、ただ復活させるのではなく、各発表内容を2ページから1ページにコンパクトにまとめ、7月に発行している「多摩川っ子」と合体させて発行することによって、費用を2/3に縮小させることができますし、「多摩川っ子」の配布先に多摩川子ども環境シンポジウムをPRすることもできます。予算も圧縮で

きて、PR先も広がるということです。

2件目は、「多摩の物語」（民話・昔話）の掘り起し調査と小冊子発行について（案）を予定しております。これは、既に発行している2冊の小冊子とは別の地域を対象とし、初年度に実地調査をおこない、2年目に小冊子を発行する計画です。

下期の活動のみならず、来年度以降、具体的な事業の提案等、この機会にご意見をいただければ有り難いと思いますので、お気軽に挙手をお願いいたします。

（堤地域経済活性化副会長）

有り難うございました。事務局から説明がございましたが、来年度以降の活動について、何かございましたら挙手をお願いいたします。

さきほど、「みんなの発表誌」を発行しなくなると共に多摩川子ども環境シンポジウムの参加者が減ってきたというお話がありましたが、子どもたちがシンポジウムで多摩川について発表するきっかけというのは、先生たちが主導で声掛けをやっているのか、それとも会員のお子さまであるとか、参加するきっかけが何であるのかが分かると、そこにリーチしていけるのではないかと思います。

本日は明星大学からご出席いただいています。私は常々、大人と子どもたちを繋ぐ存在として、高校生や大学生が活躍してくれると良いと思っております。大学生の活用という視点から、ご意見をいただけないでしょうか。

（明星大学地域交流センター課長 上楽 一博 様）

当学の学生は、地域の皆さまに支えていただきながら、色々な活動をさせていたしておりますし、中には、地域の子どもたちと活動するフェーズも数多く出てきます。しかし、押し付けになると難しいので、こういう活動が得意な学生たちの集まりが存在するかどうか、12月のスケジュールが空いているかどうか、諸条件はありますが、子どもが好きな学生は教育学部を中心に存在しますので、お手伝いできるようなことがあれば、学校の中で学生さんたちに声を掛け、お手伝いできる機会を作ればと思っております。

（堤地域経済活性化副会長）

有り難うございました。11月には多摩市でクリーンキャンペーンもございまして、地域的にも近いのではないかと思います。

事務局に質問です。過去の応募のきっかけはどのようなものがありますか。例えば先生の声掛けで集まったとか。子どもたちが参加される動機、きっかけを教えてください。

(事務局)

今回は、募集要項をしっかりと定めようということで、発表するとどういった特典があるのかを募集チラシに明記し、また「多摩川っ子」の表紙でも、子ども環境シンポジウムをPRしました。現状は、子どもが発表すると決めて後で学校に報告するケースと、学校が中心となって、どの子どもを出そうかと学校ぐるみで対応するケースとで分かれています。今年に関しても、過去に発表したグループに声を掛けておりますが、今のところ3～4グループしか確定していません。新しいグループも必要なので、各行政を通じて水辺の取り組みをしている団体とパイプのある部署にお話をしてお話をしてお話を掛けてもらったり、身近なところから情報をもらって声を掛けたり、学校を紹介していただいたりしています。多岐にわたる方法で声掛けをしています。

(堤地域経済活性化副会長)

説明有り難うございました。これは総会での変更事項になるかもしれませんが、例えば学生会費を設定するのはどうでしょうか。ボランティアで活動してもらえたら、翌年度は会費が無料になる等、若い世代の取り組みも必要ではないかと思えます。

(渡邊環境清流部会長)

多摩川沿いには、水辺の楽校が20校以上あります。水辺の楽校は環境省と文部科学省と国交省が進めています。各地域で活動している水辺の楽校を、シンポジウムの発表に取り込んだら良いのではないかと思います。本日は国土交通省京浜河川事務所の方が出席されていますので、本件についてご意見をお願いいたします。

(国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所総括地域防災調整官 中村 修也 様)

多摩川には、水辺の楽校が21校あります。基本的には、地域の方々が中心となり、近場の子どもたちを集めて生き物の観察や源流体験等、自然との触れ合いを積極的に行っています。国交省は施設整備の部分で参画をしています。先ほどおっしゃったように、多摩川子ども環境シンポジウムでの発表を水辺の楽校にお願いするのは良い事ではないかと思えます。

(堤地域経済活性化副会長)

有り難うございました。他にご意見はございませんか。

(公益財団法人東京市町村自治調査会総務部長兼調査部長 永尾 昌文 様)

多摩川カヌー駅伝についてですが、補助金は残り2～3年だと思いますので、自立を考えなければなりません。現在は6市(青梅市、羽村市、福生市、昭島市、あきる野市、八王子市)の連携ですが、本来は河口の川崎市や大田区とも一緒になってやっ

ていくべきものではないかと思います。自立の方法としては、中継地点でのイベントを充実させて、ケータリング等で出店料を取り、資金を稼ぐ必要があると思います。また、開催時期も重要です。春の桜や秋の紅葉等の地域資源を活用するのが良いのではないかと思います。

(堤地域経済活性化副部長)

有り難うございました。他に無いようでしたら次に進めます。(2) その他について、事務局から説明をお願いします。

(2) その他

(事務局)

この秋、新しい切り口で「多摩川酒蔵街道」のスタンプラリーを実施しています。チラシはJRに10,000枚、各酒蔵には100枚単位で設置してもらっていますが、足りなくなって補充したいという電話をもらっています。また、すでにスタンプラリーを済ませた方からプレゼント応募が数件届いていますので、事務局では手ごたえを感じつつあります。

なぜスタンプラリーを始めたかと言うと、すでに5年にわたって「多摩川酒蔵街道」をPRしてきましたが、チラシを作成して配布するに留まっておりましたので、今回、具体的に踏み込んだ形で企画しました。抽選で当たるプレゼント内容は、20名様に5歳飲み比べセット&オリジナルおちょこ、30名様に5歳いずれかの銘酒(300ml)1本&オリジナルおちょこです。この企画が成功したら、バスツアーなども良いのではないかという声もあり、盛り上がっているところです。皆さんもぜひ酒蔵をめぐるいただき、バスツアーや酒蔵めぐりウォーキング等のアイデアがございましたらお聞かせください。「日本酒も良いけどクラフトビールもあるから、『多摩川ビール街道』はどうか」という意見もいただいておりますので、そういった夢のある話がございましたら、よろしくをお願いします。

(澤田アドバイザー)

10月26日に小澤酒造で蔵開きがあります。毎年2,000~3,000人のお客さんがいらっしゃいます。「多摩川酒蔵街道」についても、もっと皆さんのほうからPRしてもらえれば良いのではないかと思います。JRさんも青梅線のPRに力を入れ、「東京アドベンチャーライン」を走らせていますので、皆さんもPRしていただければ有り難いです。

(堤地域経済活性化副部長)

私も先日「東京アドベンチャーライン」に乗りました。派手な車両だなと思いが

ら、少しワクワクしました。ご意見有り難うございました。

5. 出席者全員の自己紹介（取り組み事例の発表）

（堤地域経済活性化副会長）

さて、本日の三部会合同部会は基本的に終了しましたが、今日はこの後、取り組み事例の発表をおこないます。一人1分程度でお願いします。なお、これからの進行については、三部会合同部会の直接の議論ではないため、議事録には記載いたしません。安心してご発言ください。なお、時間の目安として、1分経過したら事務局でアラームを鳴らします。それでは、お一人ずつ時計回りで順番をお願いします。

＜自己紹介・取り組み事例については、部会直接の議論ではないため省略＞

（堤地域経済活性化副会長）

有り難うございました。このような機会を通じて、フォーラム会員の皆さんの活動がますます活発になれば幸いです。

6. 総括・閉会（副会長・部会長）

（堤地域経済活性化副会長）

最後に、渡邊部会長、小倉副会長に一言お願いします。

（渡邊環境清流部会長）

先ほど、皆さんから素晴らしい取り組みの発表がありました。これは大変貴重な情報交換になったのではないのでしょうか。今後も皆さんの取り組みをお互いに活かして、より発展していければ良いと思います。

この週末には勢力の強い台風19号がやってきます。ぜひ事前の備えをしていただければと思います。

（小倉副会長）

ひとり1分の取り組み発表ということで、十分な話は出来なかったと思いますが、それぞれの立場で色々な活動をされていることが分かりました。お互い参考にして、今後の活動に活かしていただければと思います。ぜひこの取り組み発表を継続してやっていただきたいと思います。

「多摩川酒蔵街道」の話もありましたが、お酒は日本の伝統文化のひとつです。この文化を次世代に引き継いでいただければと思います。

(堤地域経済活性化副部長)

有り難うございました。日本は水が豊かです。私が出張で新横浜から新幹線に乗ると、相模川、大井川、天竜川、浜名湖、琵琶湖等、美しい水のあるところを通ります。水と空気が美味しいと、色々なものが美味しいです。私たちが健康であることが一番の宝であるとする、健康は、薬品で作られるものではなく、美味しい水と空気が育んだ食べ物や日本酒等の飲み物で作られているとする、美しい多摩川フォーラムの存在価値や意義を、もっと広く未来に伝えていかなければと思います。

これで第1回三部会合同部会を終了します。本日は有り難うございました。

以 上